



4.1.4 水産庁の所管海岸

- 静浦漁港海岸(第1種)

所在地	北海道松前郡松前町	管理者	北海道
調査実施日	平成18年12月25日(月)	天候	晴れ
ヒアリング対象者	松前町産業振興課水産G、松前町教育委員会 北海道渡島支庁渡島西部地区水産技術普及指導所		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	通年漂着が確認され、特に冬期が多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ(洗剤等のポリ容器、外国語表示のゴミ等)、漁具(浮き玉、当該漁港で使用していない漁網等)		
③量	例年、今年程度の漂着量が確認される。		

● 良漁港海岸(第3種)

所在地	北海道松前郡松前町	管理者	北海道
調査実施日	平成 18 年 12 月 25 日(月)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	松前町産業振興課水産 G		
	松前町教育委員会		
	北海道渡島支庁渡島西部地区水産技術普及指導所		
現地状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	通年漂着が確認され、特に冬期が多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ（洗剤等のポリ容器、外国語表示のゴミ等）、漁具（浮き玉、当該漁港で使用していない漁網等）		
③量	例年、今年程度の漂着量が確認される。		

● 岩崎漁港海岸(第2種)

所在地	青森県西津軽郡深浦町	管理者	青森県
調査実施日	平成 19 年 2 月 26 日(月)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	青森県西北地方漁港漁場整備事務所 深浦町		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	梅雨期、台風時期～冬期の年 2～3 回、大量の漂着ゴミが確認される。		
②種類	外国語表示のゴミ（100 円ライター、ペットボトル、洗剤容器、ポリタンク等）、医療系ゴミ（注射針、薬品）、漁具（アナゴ捕獲用の仕掛け）等		
③量	外国語表示のゴミは全体の半分以上を占める。		

● 平沢漁港海岸(第2種)

所在地	秋田県にかほ市	管理者	秋田県
調査実施日	平成 18 年 12 月 22 日(金)	天 候	晴れ 時々 雨
ヒアリング対象者	秋田県由利地域振興局農林水産部		
	にかほ市産業部、市民部		
	秋田県漁業協同組合南部総括・平沢支所		
現地の状況			
漂着ゴミの状況			
①季節	台風時期、大雨後に漂着が確認される。		
②種類	プラスチック系ゴミ（外国語表示のゴミ、ポリタンク等）、危険物（中国製不発弾のような物）、医療系ゴミ等		
③量	今年は、例年と比較して多い方ではない。医療系ゴミについては近年確認されていない。		

● 出雲崎漁港海岸(第2種)

所在地	新潟県三島郡出雲崎町	管理者	新潟県
調査実施日	平成 19 年 1 月 24 日(水)	天 候	雨
ヒアリング対象者	新潟県農林水産部		
	出雲崎町産業観光課		
	出雲崎漁業協同組合		
現地の状況			
漂着ゴミの状況			
①季節	通年確認され、特に冬期に多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ（外国語表示のゴミ、ポリタンク、ペットボトル等）、漁具等		
③量	既往調査では、347m ³ /年(うち人工物 248m ³ /年、自然物 99m ³ /年)		

● 姫津漁港海岸(第2種)

所在地	新潟佐渡市	管理者	新潟県
調査実施日	平成19年1月25日(木)	天候	くもり
ヒアリング対象者	佐渡市相川支所産業振興課		
	金泉南部漁業協同組合		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	冬期、シケ後に多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ(外国語表示のゴミ等)、漁具(当該漁港で使用しない漁網、ロープ等)、医療系ゴミ(注射針、薬品等)		
③量	近年増加傾向にある。		

● 片辺漁港海岸(第1種)

所在地	新潟県佐渡市	管理者	佐渡市
調査実施日	平成19年1月25日(木)	天候	くもり
ヒアリング対象者	佐渡市相川支所産業振興課		
	高千漁業協同組合		
現地の状況			
			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	冬期に多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ(外国語表示のゴミ等)、漁網(赤色、黄色等当該漁港で利用していないもの)等		
③量			

● 赤羽根漁港海岸(第4種)

所在地	愛知県田原市	管理者	愛知県
調査実施日	平成 19 年 2 月 7 日(水)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	田原市 畜水産係		
	赤羽根漁業協同組合、NPO あかばね塾		
現地の状況			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	8～9月の南風が卓越する時期及び台風時期に多い。冬期はほとんどない。		
②種類	プラスチック系ゴミ（ペットボトル、レジンペレット（プラスチックの中間材料）、外国語表示のゴミ等）、漁具、家庭ゴミ等		
③量	既往清掃活動では14～16t		

● 香住漁港海岸(第3種)

所在地	兵庫県美方郡香美町	管理者	兵庫県
調査実施日	平成19年2月8日(木)	天候	くもり
ヒアリング対象者	香美町健康福祉部町民課 環境衛生係 香住町漁業協同組合		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	冬～春期にかけて多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ(ペットボトル、外国語表示のもの等)、発砲スチロール、漁具(ウキ、当該漁港で利用しないアナゴの仕掛け等)		
③量	既往清掃活動では年間 67m ³		

● 浜坂漁港海岸(第3種)

所在地	兵庫県美方郡新温泉町	管理者	兵庫県
調査実施日	平成 19 年 2 月 8 日(木)	天 候	くもり
ヒアリング対象者	浜坂町漁業協同組合		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	台風時期に多い。冬期は少ない。		
②種類	プラスチック系ゴミ（外国語表示のもの等）、カン等		
③量	近隣海岸と比較して少ない。		

● 和江漁港海岸(第2種)、鳥井漁港海岸(第1種)

所在地	島根県大田市	管理者	島根県
調査実施日	平成 19 年 2 月 15 日(木)	天 候	くもり
ヒアリング対象者	太田市産業振興部水産課		
	漁業協同組合 JF しまね太田支所		
現地の状況			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	冬期風浪時に多い。特に雨が降った時は河川からの流出ゴミも多い。		
②種類	流木、プラスチック系ゴミ (ハングル表記のペットボトル、中国語表記のペットボトル、その他プラスチック類)		
③量	例年、今年度程度の漂着量が確認されている。		

- 久見漁港海岸(第1種)、油井漁港海岸(第1種)、中村漁港海岸(第4種)

所在地	島根県隠岐郡隠岐の島町	管理者	隠岐の島町
調査実施日	平成 19 年 2 月 15 日(木)	天 候	
ヒアリング対象者	隠岐の島町役場農林水産課		
	JF しまね西郷支所		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
① 季節	台風時、シケ時に多い。		
② 種類	漁網、ロープ、プラスチックゴミ (半分以上は外国製)		
③ 量	年によってばらつきがある。		

● 赤野漁港海岸(第1種)

所在地	高知県安芸市	管理者	安芸市
調査実施日	平成 19 年 2 月 1 日(木)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	安芸市商工水産課		
	芸西漁業協同組合		
	NPO SEA-GROUND		
現地の状況			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	台風及び梅雨期の河川出水後に多い		
②種類	プラスチック系ゴミ (ペットボトル、弁当容器等)		
③量			

● 豊の浦漁港海岸(第2種)

所在地	愛媛県西宇和郡伊方町	管理者	伊方町
調査実施日	平成19年2月2日(金)	天候	くもり
ヒアリング対象者	伊方町建設課漁港係		
	八幡浜漁業協同組合伊方支所		
現地の状況			
			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	台風時期に多い。		
②種類	生活ゴミ、プラスチック系ゴミ（外国語表示のもの等）、発砲スチロール、漁具（当該漁港で使用しないアナゴ捕獲用の仕掛け、養殖用の漁具）等		
③量	年々増加傾向にある。		

● 蚊焼漁港海岸(第1種)、為石漁港海岸(第1種)

所在地	長崎県長崎市	管理者	長崎市
調査実施日	平成 19 年 2 月 21 日(水)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	長崎市三和行政センター		
	野母崎三和漁業協同組合		
現地の状況：上段が蚊焼漁港、下段が為石漁港			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	通年確認されるが、大雨期に多い。		
②種類	プラスチック系ゴミ（日本製）		
③量	蚊焼漁港よりも為石漁港の方がゴミ量が多い。		

● 日島漁港海岸(第1種)

所在地	長崎県南松浦郡新上五島町	管理者	新上五島町
調査実施日	平成 19 年 2 月 22 日(木)	天 候	晴れ
ヒアリング対象者	新上五島町水産課 若松漁業協同組合		
現地の状況			
			
漂着ゴミの状況			
①季節	通年多い。		
②種類	医療系ゴミ（注射針、点滴袋、アンプル、薬品等）、ドラム缶、ポリタンク、漁具（アナゴ捕獲用仕掛け、漁網、浮き玉等）、外国語表示のもの等		
③量	既往清掃活動では、年間 350～400m ³ を回収。外国語標記のゴミは、約 20 年前から増加している。		

- 主要な漂着ゴミの種類
現地調査において確認された主要なゴミの種類を以下に示す。

<p>①外国語表示のペットボトル (香住漁港)</p>	<p>②外国語表示のポリタンク (静浦漁港)</p>
	
<p>③外国語表示のプラスチック製容器 (片辺漁港)</p>	<p>④発泡スチロール製の浮き (日島漁港)</p>
	
<p>⑤漁網 (日島漁港)</p>	<p>⑥アナゴ用仕掛け (国内で使用されないもの)(豊の浦漁港)</p>
	

● 漁具系ゴミ分布状況

海岸における特徴的な漁業系漂着ゴミの1つとして、日本国内の漁業では使用していないタイプの漁網や、アナゴ捕獲用の仕掛け等、韓国を始め日本海沿岸諸国で使用されている漁具系のゴミが、日本海沿岸域を中心に確認された。

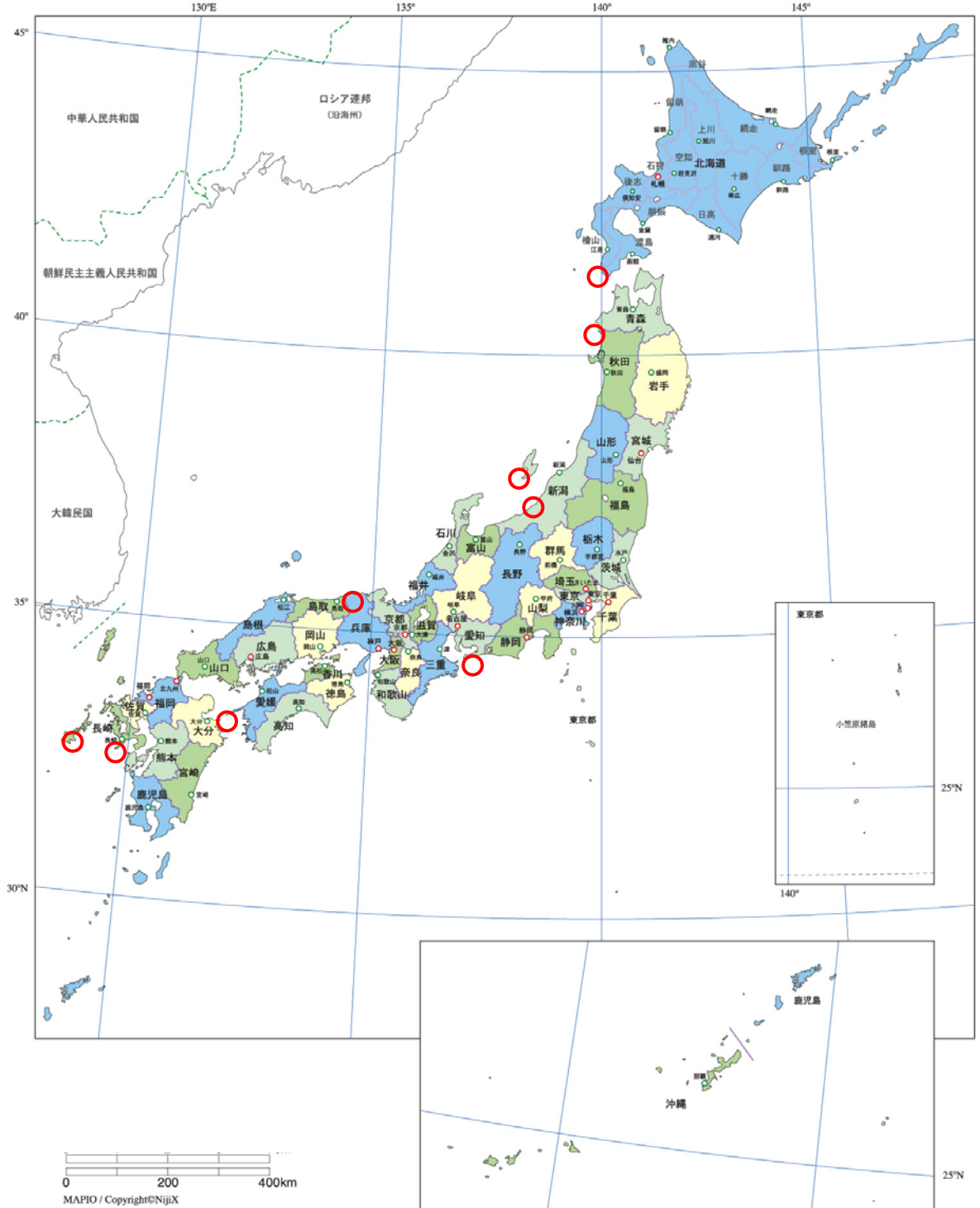


図 4.9 漁具系ゴミ分布状況

● 医療系ゴミの状況

特徴的な漂着ゴミの1つとして、注射針やアンプル、点滴袋、薬品等の医療系のゴミが、日本海北部沿岸域を中心に確認された。調査対象は選択的であり、全国の海岸を網羅したものではないが、その中から、このような医療系ゴミが確認された海岸ポイントの分布を、図 4.10に示す。

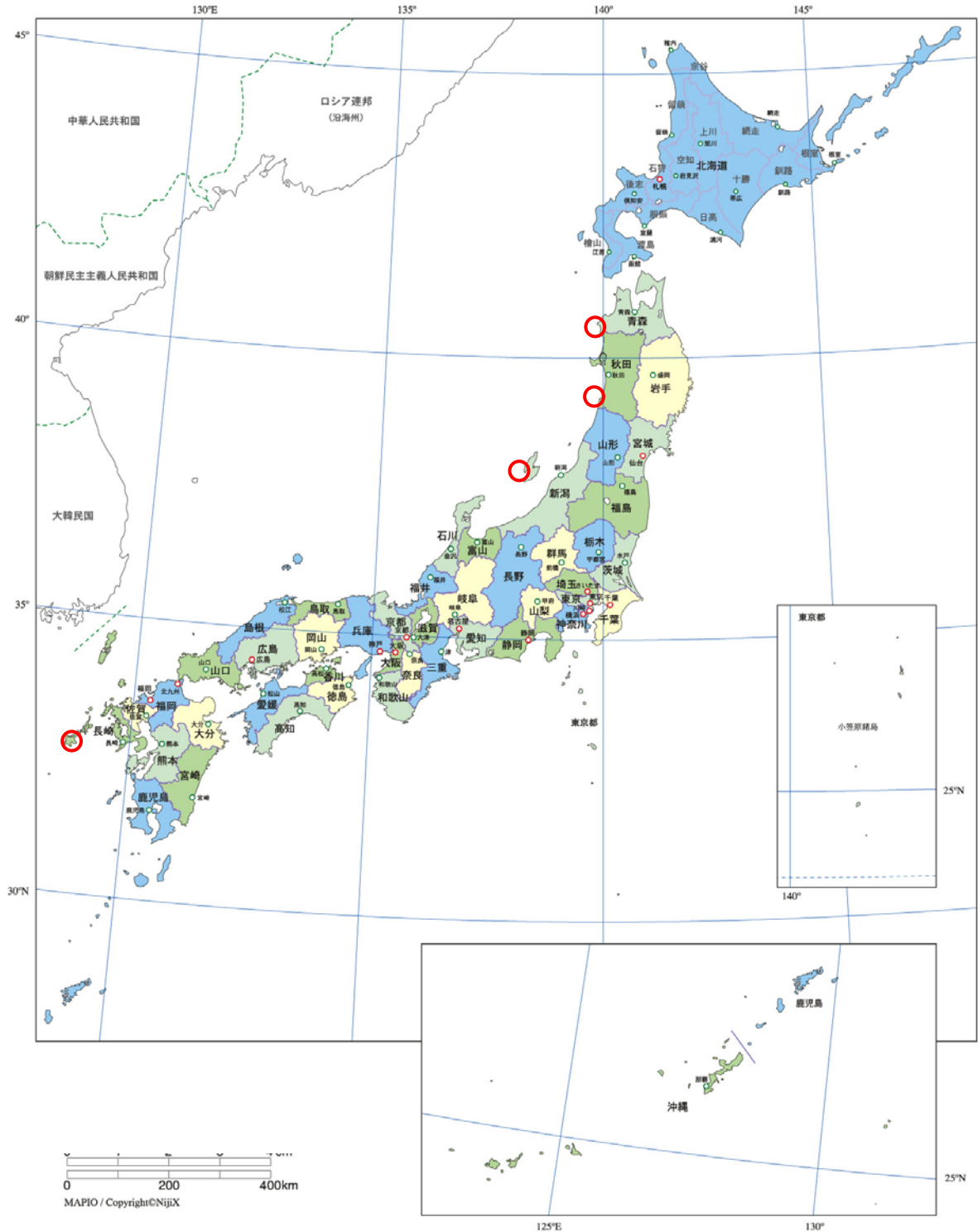


図 4.10 医療系ゴミの状況

- 外国系ゴミの状況（漁具は除外）

特徴的な漂着ゴミの1つとして、韓国語、中国語、ロシア語等が表記されたプラスチック系ゴミがある。これらのゴミは、東シナ海～日本海沿岸域を中心に確認されており、外国系のゴミは、日本近海の流れの影響を受けて、日本沿岸部に漂着していることが予想される。外国系ゴミの分布と日本近海の流れの状況を、図 4.11に示す。

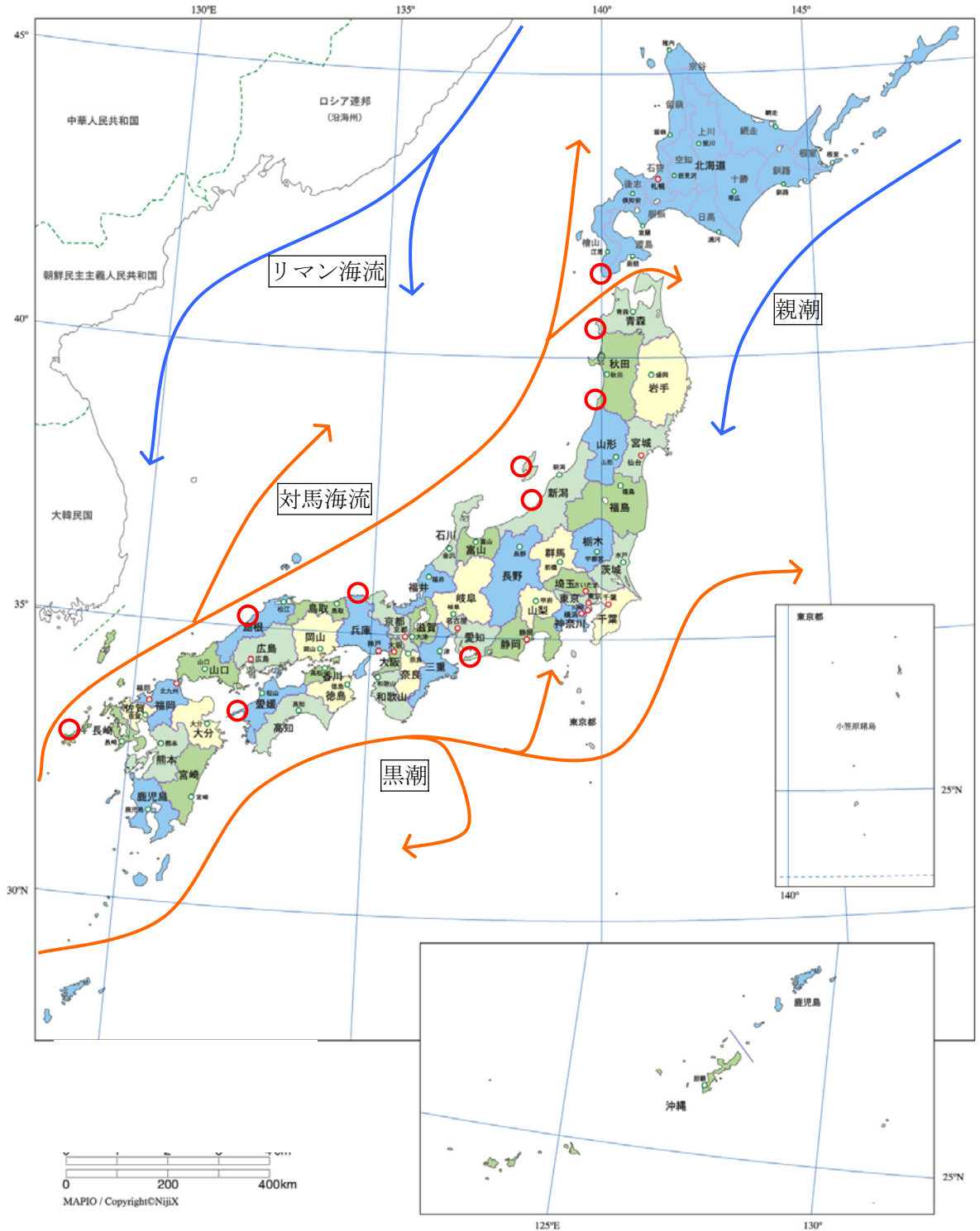


図 4.11 外国系ゴミの分布状況と日本近海の流れ

● 漂着ゴミの総量

現地調査により把握した漂着ゴミ総量調査結果を図 4.12に示す。大陸または対馬暖流に近い、離島である日島漁港海岸（長崎県・新上五島）が、他の漁港海岸と比較しても、漂着ゴミの量が多い地域の1つであることが確認された。また、本土側においても、出雲崎漁港海岸（新潟県）が漂着ゴミの量が多い地域であることが確認された。

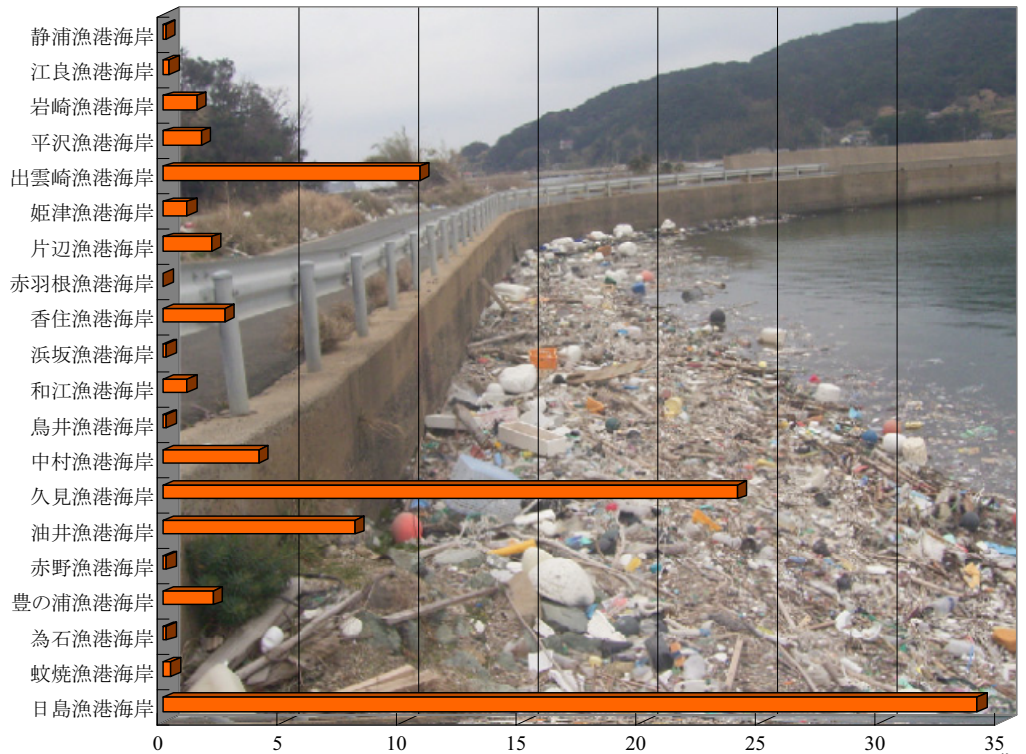


図 4.12 漁港海岸別 漂着ゴミ総量調査結果 (2006.12~2007.2 実施)

● 漂着ゴミの全国的な傾向

漂着ゴミの全国的な傾向を、概観的に整理する。調査は、選択的に限定されたモデルを対象としたものであり、わが国全海岸を調査したものではないが、大まかな傾向はつかめたものと考えられる。

● 漂着ゴミの状況

- ・ ペットボトルや、ポリタンク等の、プラスチック系ゴミの海岸への漂着が、全国的に確認された。
- ・ 河川出水時に流出した家庭ゴミ、流木等の海岸への漂着が、全国的に確認された。
- ・ 外国語表示のゴミについては、東シナ海～日本海側を中心に分布し、長崎県の離島部で最も多く確認された。また、長崎県本土側、豊後水道（愛媛豊の浦漁港 佐田岬の南側）、太平洋側（愛知赤羽根漁港）等でも、若干の漂着量が確認された。
- ・ 日本で使用しない日本海沿岸諸国の漁具（アナゴの仕掛け、漁網等）系のゴミの漂着は、東シナ海～日本海側を中心に分布していることが確認された。
- ・ 医療系ゴミの漂着は、日本海北部沿岸及び、離島部で確認された。
- ・ 全国的に冬期（風浪が激しい時期）、梅雨期（海岸に流れ込む河川の増水時期）等に、海岸への漂着ゴミが多く発生している。

● 漂着ゴミの回収・処理プロセス

- ・ 形態や頻度は地域により異なるが、漁港海岸を有する漁業協同組合や背後の自治体（集落の構成員が、ほとんど漁業関係者である場合も多い）では、ボランティアで海岸清掃を実施している場合が多い。
- ・ 地方自治体は、ボランティアによる清掃活動に対して、収集したゴミを収納するゴミ袋の提供や、回収したゴミの運搬等の支援を行っている。
- ・ 景観や自然環境に優れた国立公園や、夏場に多くの海水浴客で賑わう海水浴場、ウミガメの上陸海岸といった、地元住民にとって“誇れるもの”がある地域では、地元住民の意識も高く、自主的な清掃活動も盛んな傾向にある。
- ・ 事例的抽出であるが、ある町の自治体では、縦割り行政の弊害を無くし、町の一般ごみを扱う部局で、漂着ゴミについても一括して担当する体制をつくっている。その結果、他部局との横の連携がスムーズであると同時に、漂着ゴミや清掃活動の情報が全て一元的に集約されており、地域住民に対しても、フットワークの良い対応が可能になっているように感じられた。
- ・ 漁協や地域住民が収集したゴミのうち、焼却処分可能な自然もの（流木等）については、自治体や消防署等の関係機関に連絡を行った上で、その場で焼却処理することにより、余分な出費を抑える対応をする地域もある。
- ・ 離島部の地方自治体は、比較的地域課題に柔軟な利用が可能な「離島漁業再生支援交付金事業」を活用して、清掃活動への支援（ゴミ袋の支給、運搬、処理等）を実施している例が多い。しかし、このように交付金を活用してはいるが、離島内で処理できない大量の漁網や、大型プラスチックゴミ等については、本島の産業廃棄物処理場まで運送して、処理しているのが実情である。
- ・ 本土側の地方自治体では、単費で清掃活動への支援を実施している例があり、支出金額の大きい地方自治体では、1,000万円／年程度を負担しているところもある。
- ・ 地元 NPO 団体が、積極的にボランティアの海岸清掃を実施している地域もあるが、全ての地域で、そのようなボランティア組織と行政との連携が、必ずしもうまく図られているとは言えないのが実情である。